

参考資料 2 仙北市の現状把握のための調査結果

アンケート調査の説明

1. 平成20年度食育に関するアンケート

【調査目的】「仙北市食育推進計画」を策定するにあたり、その基礎資料とするため、仙北市民を対象にアンケート調査をした。

【調査対象】 地区別・年齢層別（20歳代～70歳代）の無作為抽出による。
年齢層ごとに300人×6階層。

【回答結果】 1,800人中、1,012人から回答を得た。(回収率56.2%)

2. 平成20年度健康に関するアンケート

【調査目的】「けんこう仙北21計画」を策定するにあたり、その基礎資料とするため、仙北市民を対象にアンケート調査をした。

【調査対象】 地区別・年齢層別（20歳代～70歳代）の無作為抽出による。
年齢層ごとに300人×6階層。

【回答結果】 1,800人中、1,005人から回答を得た。(回収率55.8%)

3. 平成20年度園児の食生活アンケート

【調査目的】 家庭での食生活の実態を把握するため仙北市の保育園児を対象に実施した。

【調査対象】 角館地区（角館・白岩小百合・角館西・中川）、田沢湖地区（神代だしのこ）、西木地区（にこにこ・ひのきない・かみひのきない）の計9園

【回答結果】 766人中、701人から回答を得た。(回収率91.5%)

▲(注)アンケート結果の数値は、1つの目安として使用しています。

1. 平成20年度食育に関するアンケート結果

調査対象基本データ（単位：人）

【住所地】

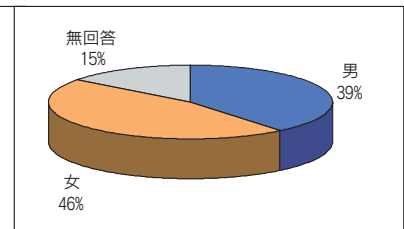
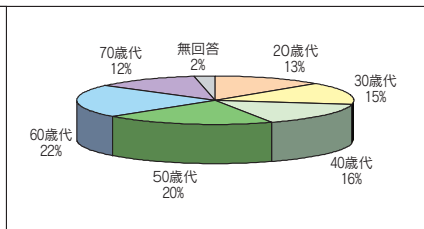
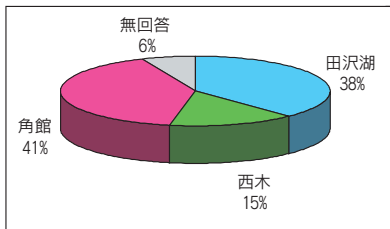
田沢湖	381人	38%
西木	155人	15%
角館	411人	41%
無回答	65人	6%
計	1012人	100%

【年代】

20歳代	130人	13%
30歳代	150人	15%
40歳代	158人	16%
50歳代	204人	20%
60歳代	220人	22%
70歳代	125人	12%
無回答	25人	2%
計	1012人	100%

【性別】

男	395人	39%
女	469人	46%
無回答	148人	15%
計	1012人	100%

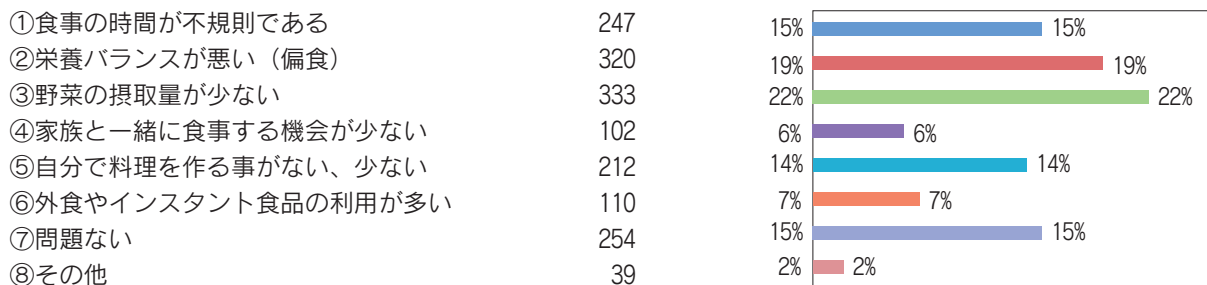


問1. あなたは、食育という言葉や意味を知っていますか？

①言葉も意味も知っている	407	40%
②言葉は知っているが意味は知らない	422	42%
③言葉も意味も知らない	149	15%
④無回答	34	3%

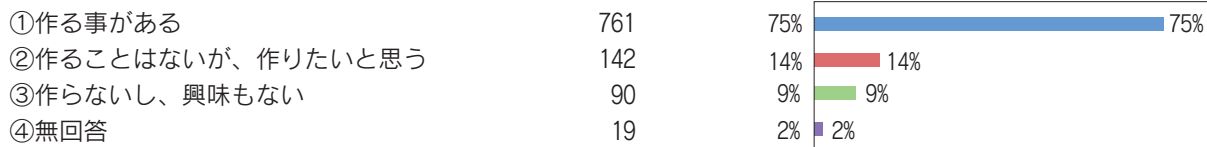
「食育」の認知度として、「言葉は知っているが意味は知らない」が最も多く42%で、次いで「言葉も意味も知っている」が40%となっています。これらは、食育への関心への現れと思われ、意味を知らない人々は、正しい知識を習得し実践する必要があります。

問 2. あなたは、ご自分の食生活の中で問題だと思いませんか？（複数回答）



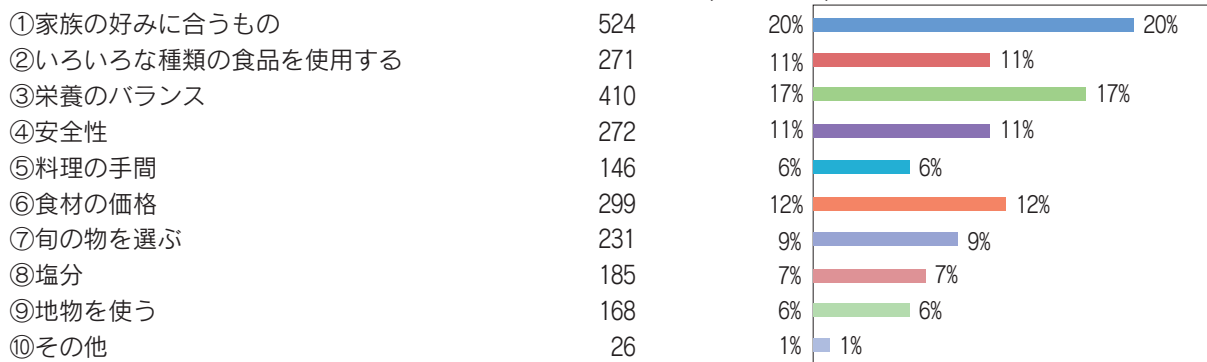
食事の問題点としては、「野菜の摂取量が少ない」が最も多く 22%で、次いで「栄養バランスが悪い（偏食）」19%となっています。年代別でも、上位 2 位までは変わらない結果となっています。高齢者は、「問題ない」が最も多く、50 歳代以下では「自分で料理を作る事が無い、少ない」という回答が多く、年代により問題点が異なります。その他の回答として多かったのは、食事量の問題です。

問 3. ご家庭では、お盆や正月などに伝統的な食事を作る事がありますか？



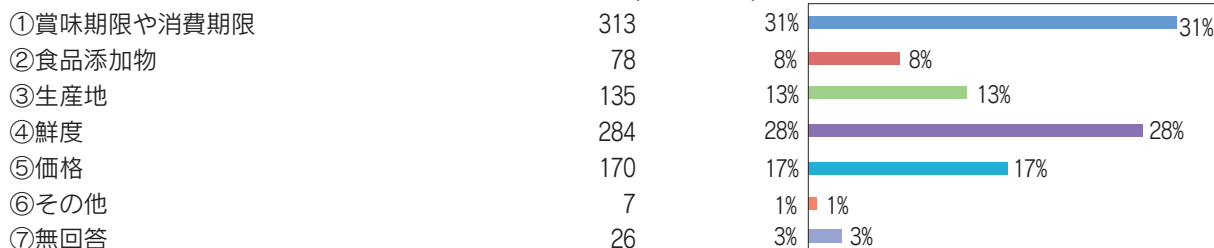
伝統食については、「作る事がある」が年代を問わず最も多く 75%で、次いで「作ることはないが、作りたいと思う」が 14%となっています。結果より郷土食に興味をもっていることがうかがえます。

問 4. ご家庭では、献立を決める時に何に気をつけていますか？（複数回答）



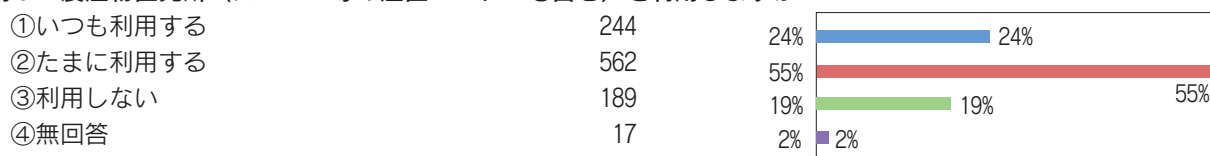
献立の決め手となるのは、「家族の好みに合うもの」が最も多く 20%で、次いで「栄養バランス」「食材の価格」「いろいろな種類の食品を使用する」「安全性」と続きます。高齢者においては、他年代と比較して、「地物を使う」が比較的多く、食料価格の高騰や食品の偽装事件等の問題を受けて、消費者が食材を吟味していることがうかがえます。その他の回答としては、自家製野菜等の使用や自宅にある食材で調理するなどが多く、前に述べた理由が大きく影響しているように思われます。

問 5. 食品を選ぶ時、どんなことに気をつけていますか？（複数回答）



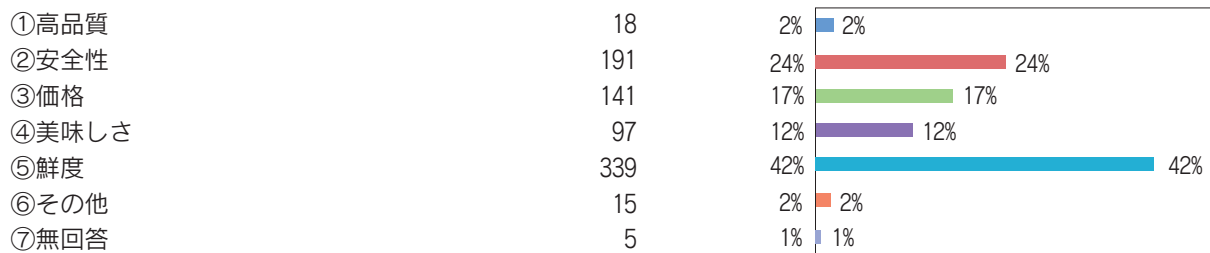
食品選びのポイントとして、「賞味期限や消費期限」が最も多く 31%で、次いで「鮮度」が 28%となっています。上位 2 位は、年代を問わず同じで、消費者は食品の美味しい時期を考えていることがうかがえます。3 位には、いずれの年代も「価格」であり、前問同様、食料価格の高騰の影響を受けていることがうかがえます。その他の回答には、複数の方が「全項目で気を付けている」と回答しております。

問 6. 農産物直売所（スーパー等の産直コーナーも含む）を利用しますか？



農産物直売所の利用について、「たまに利用する」が年代を問わず最も多く 55%と過半数を占めております。
年代別にみると、60 歳代の 2 位は「いつも利用する」で産直への期待感（安心感）を持っていることが推測され、
20 歳代の 2 位は「利用しない」で、あくまでも予想ですが、産直や産地への興味がうすいことがうかがえます。

問 7. 問 6 で①いつも利用する・②たまに利用する（計 806 人）と答えた理由をお答えください。



産直を利用する理由として、「鮮度」が最も多く 42%で、「安全性」「価格」「美味しさ」と続きます。年代別には、50
歳代以上の「鮮度」を選んだ割合は、50%弱と多くの方が重要視していることがうかがえます。
その他では、自家製野菜が不足した際に利用しているという回答が多く、産直への信頼感・期待感がうかがえます。

仙北市食育懇談会委員名簿

(平成21年3月現在)

番号	分野	氏名	所属団体等
1	福祉 保健	後藤 薫	座長：仙北市立角館病院副院長
2		川村 加寿子	仙北市市民福祉部保健課栄養士
3		高橋 悦子	仙北市市民福祉部保健課保健師
4		佐藤 淑子	仙北市食生活改善推進協議会副会長
5	子育て	相馬 万知子	仙北市立角館保育園園長
6	学校 教育	藤原 健造	仙北市校長会会長
7		山本 啓彦	仙北市連合PTA会長
8		千田 京子	仙北市田沢湖学校給食センター栄養士
9	農業	藤村 隆清	仙北市認定農業者協議会会長
10		藤井 けい子	グリーン・ツーリズム西木研究会会長
11	一般	田口 淳子	公募委員
12		浅野 洋子	公募委員
13	行政	野中 秀人	仙北市産業観光部長

仙北市食育推進計画

平成21年3月

編集・発行 仙北市産業観光部農林課

〒014-0592 秋田県仙北市西木町上荒井字古堀田47

TEL 0187-43-2206 FAX 0187-47-2440

E-mail norin@city.semboku.akita.jp

URL <http://www.city.semboku.akita.jp/>

「食」という字は、「人を良くすること」を表しています。

